

編集後記

観光庁によれば、観光需要喚起策「GoTo トラベル」の利用者は10月15日までに約3138万人に上り、割引支援額は約1397億円になるという。読者の皆さんももう利用されたかもしれない。新型コロナウイルス感染症の影響が甚大な業種のひとつが観光産業である。本号の特集「激変する世界と観光の現在」では、コロナ以前から変化し続ける観光の現場に焦点をあてる。目を開かされたのは、コロナが世界を変えたのではない、新型コロナウイルスの拡大が常に変化する世界の動きを止めたのだという逆説である。そして、絶えず流動する現代社会を象徴的に示すのが観光現象だという。そうであれば、変化する世界の休止状態にいかに向き合うかのヒントが、縮図である観光の現場に隠されているかもしれない。ケニアの牧畜民に倣って、あらたな可能性をしなやかに、強かに探る。あるいは、コロナ後の身体的移動の再開を見据え、「精神的移動」をより豊かにするよう取りくむ等々だ。手前味噌になるが、前号の特集「世界温泉めぐり」はそのような試みになっていたのではないか。期せずして、日本文化人類学会の学会誌『文化人類学』最新号（85巻2号）の特集も「文化遺産、ツーリズム、防災」である。併せてご覧いただければと思う。（南真木人）

●表紙：巨大な観光クルーズ船。一度に2000人の観光客がやってくる
（撮影：福井栄二郎、ヴァヌアツ、アネイチウム島、2018年）

次号の予告

特集

「めでたい場の食」(仮)

みんなぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんなぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。

毎月『月刊みんなぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんなぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんなぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんなぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00）



月刊みんなぱく 2020年12月号

第44巻第12号通巻第519号 2020年12月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 南真木人（編集長） 上羽陽子 齋藤晃

菅瀬晶子 三島禎子 吉岡乾

デザイン 宮谷一欒 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 株式会社 遊文舎

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなぱくホームページ

みんなぱくフェイスブック

みんなぱくツイッター

みんなぱくインスタグラム

みんなぱくYouTube

<https://www.minpaku.ac.jp/>

<https://www.facebook.com/MINPAKUofficial>

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

